

## 呉羽山越えルートを理解

**富山** NPO法人きんたろう倶楽部（鏡森定信理事長）の講座「呉羽山越えルートの変遷をたどる」は25日、富山市古沢の市ファミリーパークで開かれ、参加者が呉羽山の山道の移り変わりに理解を深めた一写真。北日本新聞社後援。  
同市郷土博物館の学芸員、浦畑奈



津子さんが講師を務め、中世から現代までの呉羽山の山道について説明した。

浦畑さんは、呉羽地区の現在の町名を挙げ「昔はお茶の産地だった」「山道沿いに茶屋があった場所を示す」などと解説。明治天皇の行啓に合わせて新しい道が造られたことや、天皇が休憩した当時の道沿いに記念碑が建っていることなどを話した。

北日本新聞 平成26年1月26日(日)